

論集番号	著者	題名
1	花田凌雲	眞宗に於ける讀經の意義
	是山惠覺	眞宗宗要百論題講述
	伊藤義賢	朝家と國民の念佛
	篠田龍雄	論註の展開價值
	神子上惠龍	金光明三身品の成立に關する研究
	藤岡勇信	眞假論の一考察
	瓜生津隆雄	隆寛律師と親鸞聖人の一多批判と其の立場
	藤永清徹	眞宗本派永代經沿革
2	花圓映澄	諸宗念佛教義の概観
	花田凌雲	浄土門念佛本質の討究 ー其一浄土三經の文面に就いての考察ー
	雲山龍珠	稱名本願偏執説に質す
	藤 了暢	本願の十方衆生の意義に就て
	楠 臥龍	眞諦三藏所傳の唯識教理に顯れたる三性三無性論
	清水尚澄	念佛の教義的開展序説
3	花圓映澄	諸宗念佛教義の概観
	花田凌雲	浄土門念佛本質の討究 ー其一浄土三經の文面に就いての考察ー
	杉 紫朗	鎮西諸行往生論の検討
	大江淳誠	眞定と相承
	篠田龍雄	論註の展開價值
	藤永清徹	墓前讀經論
4	花圓映澄	諸宗念佛教義の概観
	大沼善隆	逆謗除取に就ての考察
	花田凌雲	眞宗教壇に於ける社會事業の根本使命
	宇野惠空	大經諸譯に於ける因願・成就の對照研究
	普賢大圓	學轍分裂後に於ける行の思想
	荻生隆三	眞宗の相承上に現はれたる末法思想
5	花田凌雲	浄土門念佛本質の討究
	雲山龍珠	行信に關する根本觀念
	宗學院同人編纂	一念覺不論集
	花圓映澄	諸宗念佛教義の概観
	普賢大圓	學轍分裂期以後に於ける行の思想
	宇野惠空	宗學研究の諸註疏に就いて
	瓜生津隆雄	『教行信證大意』に於ける一問題
	花圓映澄	法樂餘技(太陽太陰兩曆合會並に御正忌日兩曆合會の推算)
6 是山和上 追悼記念號	花田凌雲	是山和上の學風を偲びて
	研究編	
	杉 紫朗	是山和上の五念門義
	花圓映澄	三願眞假
	藤永清徹	助正論
	大江淳誠	行信論
	佐々木鐵城	教判論
	眞木智英	隱顯論
	神子上惠龍	是山和上の佛身論
	瓜生津隆雄	是山和上の宗體論

論集番号	著者	題名
6 是山和上 追悼記念號	感想編	
	鈴木法琛	是山和上を憶ふ
	辻 圓證	是山和上に就て
	雲山龍珠	是山和上の思ひ出
	高木樞堂	故是山和上を憶ふ
	足利瑞義	是山和上を偲ぶ
	内田昶融	是山觀學を憶ふ
	阿部珀琳	和上と勤式練習場
	傳記著作編	
	多田蓮識	是山和上傳
	篠田龍雄	是山和上學歴著作年代表
7	花田凌雲	淨土門念佛本質の討究
	大江淳誠	眞宗の意義
	篠田龍雄	論註の展開價值
	清水尚澄	念佛の教義的展開序説
	加藤佛眼	乃至十念論
	花圓映澄	諸流念佛義の概観
	德澤龍泉	聖道諸師に於ける無量壽經の解釋的思想傾向とその批判
8	花田凌雲	淨土門念佛本質の討究
	雲山龍珠	教判論
	宇野惠空	二河譬の眞假論
	藤岡勇信	西鎮の三願觀と眞宗に對する論難に就て
	普賢大圓	原始宗學に於ける聖淨論の開展
	加藤佛眼	乃至十念論
	花田凌雲	最近異解異安心問題の検討
9	花田凌雲	最近異安心問題の検討
	藤永清徹	二種深信
	篠田龍雄	論註の展開價值
	加藤佛眼	乃至十念論
	普賢大圓	非意業の研究
10	藤永清徹	往還廻向
	瓜生津隆雄	環興師所覺の大經と親鸞聖人
	加藤佛眼	第十八願觀三態
	德澤龍泉	今家に於ける無量壽經解釋の系統と發展
	佐藤哲英	阿含に於ける二諦關係の資料
	宮崎圓遵	初期本願寺教團に於ける北陸教線の發展
11	花田凌雲	最近異解異安心問題の討究
	禿氏祐祥	眞宗書史學
	大江淳城	眞宗と相承
	宇野惠空	諸佛證誠義の討究
	普賢大圓	法霖智暹の宗學を論じ明和法輪に及ぶ
	德澤龍泉	選擇集と三經釋とに於ける所顯
	佐藤哲英	阿毘達磨論書に現はるゝ二諦説
12	杉 紫朗	造罪對念佛論の一斑

論集番号	著者	題名
12	藤岡勇信	眞宗本尊論
	荻生隆三	第十八願要論
	加藤佛眼	本願三信論
	佐藤哲英	阿毘達磨論書に現はるゝ二諦説
	宮崎圓遵	佛光寺教團の發展に關する一考察
13	西光義遵	眞宗先哲の三教論
	普賢大圓	眞宗に於ける信一念の考察
	荻生隆三	第十八願要論
	加藤佛眼	本願三信論
	佐藤哲英	文殊師利法王子に就いて
	藤枝昌道	十念釋義に於ける傳統と己證
14	西光義遵	眞宗先哲の三教論
	篠田龍雄	淨滿院の滅罪論上に於ける佛凡一體の地位とその批判
	桐溪順忍	空華轍の一如觀に就いて
	德澤龍泉	淨土三經聖典論
	宮崎圓遵	蓮如上人の化風とその背景
	向野策馬	淨土三經及び本典と涅槃經との關係
	宗學院同人	信微上人御釋について
	花圓映澄	略字考
15	藤永清徹	眞宗宿善論
	普賢大圓	眞宗に於ける宗教生活の原理
	加藤佛眼	三家(鎮西・西山・眞宗)三心釋論
	德澤龍泉	淨土三經聖典論(二)
	向野策馬	淨土三經及び本典と涅槃經との關係(二)
16	雲山龍珠	願海並びに七祖の上に於ける行信
	宮崎圓遵	『法事讃』の抄出本に就いて 一本願寺本と金澤文庫本一
	佐藤哲英	『口傳鈔』の成立に關する研究 一古寫本研究に基く高田『口傳鈔』の批判一
	藤枝昌道	二雙四重の教判的意義
	市川良宣	『本典』所引に於ける今家の『華嚴經』觀
	宮地廓慧	『大智度論』索引(一)
17	藤永清徹	正定聚論
	宇野惠空	眞宗に於ける俗諦門の研究
	德澤龍泉	淨土三經聖典論
	向野策馬	豊前宗學を所依とする説法論
	宮崎圓遵	蓮照應玄に就て
	宮地廓慧	『大智度論』索引(二)
18	藤永清徹	眞宗滅罪論
	神子上惠龍	六字釋の研究 緒論篇
	佐藤哲英	般若經に現はるゝ二諦説
	宮地廓慧	根本分派の事情と阿育王年代に就て
	市川良宣	十住毘婆沙論の淨土教とその傳承に就いて
19	神子上惠龍	龍樹菩薩の彌陀佛身思想の研究
	普賢大圓	眞宗に於ける禍福と祈禱の問題
	向野策馬	豊前學派の稱名論

論集番号	著者	題名
19	宮崎圓遵	金澤文庫所藏 播州法語集に就て「一遍上人語録」「播州問答集」の成立に関する一考察
	宮地廓慧	『大智度論』索引(三)
20	禿氏祐祥	乗専法師と假名聖教の寫傳
	禿 諦住	古道正運の信奉者 一第二正運の存在に就いて一
	市川良宣	『十住毘婆沙論』の浄土教とその傳承に就いて(承前)
	野部了慧	石泉師の行信思想源流考
	宗學院同人	眞宗聖教調査報告
	宮地廓慧	『大智度論』索引(四)
21	神子上惠龍	彌陀の主格に関する抗爭に就ての研究
	向野策馬	眞宗に於ける化土往生義の必然性及其の展開
	宮地廓慧	原始佛教に於ける縁起説の意義に就て
	七里恒賢	『勝鬘經』と如來藏心
	徳澤龍泉	『諸縁深知集』に就て
22	藤永清徹	眞宗現益論
	山崎精華	空範疇論序説
	苗村高綱	智者大師の放生池について
	宮崎圓遵	室町時代に於ける『正信偈』の註疏
	宮地廓慧	原始佛教に於ける縁起説の意義に就いて
	野部了慧	第十七願諸佛咨嗟に就いての諸學説考評
	宗學院同人	眞宗聖教調査報告
23	篠田龍雄	五重義の名號に就いて
	佐藤哲英	天台『觀經疏』の再吟味
	宮崎圓遵	室町時代に於ける『正信偈』の註疏(承前)
	市川良宣	『十住毘婆沙論』に於ける易行道の本質及びその意義に就いて
	野部了慧	『安心決定鈔』と眞宗教義
	眞實院大瀛師遺稿	東行詩草
24	宮地廓慧	原始佛教に於ける「信」
	野部了慧	『安心決定鈔』と眞宗教義(續キ)
	石田充之	西山派祖證空師教義の概観
	宇野惠空	眞俗二諦論の一考察(救済と教化)
	水戸善英	本典の義例に就いて
25	大江淳誠	行信釋義と往生論註
	苗村高綱	『天台四教義』の末疏
	桐溪順忍	時尅の一念に就ての一考察
	徳澤龍泉	大經五惡段の譯出及び其根本思想について
	宮崎圓遵	『最須敬重繪』の指圖書に就て
	水戸善英	稱名破滿釋の動向に就いて
	石田充之	金澤文庫藏隆寛律師遺著『具三心義』本文と解説
26	藤永清徹	眞俗二諦論
	佐藤哲英	天台『阿彌陀經義記』に就いて
	野部了慧	眞宗教義優越性の一觀點
	石田充之	西山派祖證空師教義の概観(下)
	花田凌雲	學窓閑談
	杉 紫朗	宗學漫語

論集番号	著者	題名
26	徳澤龍泉	宗祖に顯れたる論證的方法
	宮地廓慧	眞宗學の意義並に態度
27	雲山龍珠	本典總序に於ける空華石泉豊前三轍の評林(一)
	高雄義堅	釋門自鏡錄に就いて
	神子上惠龍	祈禱の可否に就て古今學説の概觀
	宮崎圓遵	中世に於ける唱道と談義本
	宮地廓慧	他力思想展開の一齣
	桐溪順忍	眞宗學に関する雜録
	水戸善英	『教文類』に於ける御己證の意義
	石田充之	金澤文庫藏隆寛律師遺著『具三心義』本文と解説(續キ)
28	雲山龍珠	本典總序に於ける石泉豊前空華三轍の評林(二)
	篠田龍雄	易行品に表はれたる誘引施設法
	苗村高綱	天台大師の彌陀思想
	谷下一夢	安心決定鈔の原型と其撰者について
	香川祐山	淨土論の觀について
	野部了慧	等心院興隆師の宗學に就いて
	藤永清徹	大正新選宗乘論題選定事情
29	雲山龍珠	本典總序に於ける石泉豊前空華三轍の評林(三)
	西光義遵	四天王寺御手印緣起に就いて
	加藤佛眼	諸行論 一第十九願について一
	青木正雄	無量壽經研究
30	佐藤哲英	千觀内供の研究
	篠田龍雄	彌陀釋迦同別論
	苗村高綱	南岳慧思禪師の彌陀觀
	神子上惠龍	西山、鎮西に於ける彌陀の主格及び統格觀
	香川祐山	論註に於ける證果論
31 安樂集 研究特輯號	高雄義堅	道綽禪師とその時代
	禿氏祐祥	安樂集の書誌學的研究
	宮崎圓遵	安樂集の古本二種 一口繪解説一
	徳澤龍泉	安樂集の體裁についての一考察
	杉 紫朗	安樂集に於ける菩提心義
	大江淳誠	安樂集と高祖教義
	桐溪順忍	安樂集に現はれたる人間觀
	普賢大圓	安樂集に於ける行の考察
	神子上惠龍	安樂集に顯はれたる如來及び淨土の觀念
	水戸善英	聖淨二門論
	藤末義城	宿善並びに西河の別時意會通概觀
	八木吳惠	往生要集に於ける安樂集の諸存在
	香川祐山	安樂集の集について
	岸田覺心	安樂集文獻總目錄
32 善導大師 研究特輯號	禿氏祐祥	善導撰述の典籍とその傳來
	小笠原宣秀	善導大師傳に関する史料二三とその品隲
	花田凌雲	善導大師念觀教義の素描
	篠田龍雄	『散善義』と『往生禮讚』との信機釋考

論集番号	著者	題名
32 善導大師 研究特輯號	普賢大圓	善導教義に於ける本願の意義
	神子上惠龍	善導大師の淨土觀
	水戸善英	善導教義に於ける生因論に就いて
	香川祐山	九品唯凡説について
	西田實也	安樂集と終南釋義
	八木昊惠	『往生要集』に偲ぶ本具兩疏の佛
	岸田覺心	善導撰述研究文献總目錄
33	月輪賢隆	善導の著書と引文考
	桐溪順忍	宗教生活に就いての一問題
	加藤佛眼	淨土眞宗の諸行の扱ひ
	青木正雄	無量壽經研究(承前)
	廣瀬教龍	五種増上緣義に就いて
	藤末義城	大經五惡段の教義的研究
	西田實也	吉水教學に於ける終南及横川の思想的地位に就て
	佐々木徹眞	宗祖の阿彌陀佛觀をめぐりて
	林 水月	親鸞聖人の現生正定聚を談ぜられた意義に就ての一考察
	森脇一掬	法然上人の相承論に於ける特異性
	土井忠雄	眞宗の佛教觀に關する一考察
	山本佛骨	安樂集と五念門に就て
34	普賢大圓	宗教生活に就いての一觀點
	加藤佛眼	淨土眞宗の諸行の扱ひ
	宮崎圓遵	願得寺實悟の生涯と業績
	藤末義城	助正問題の研究
	西田實也	横川高祖兩教學の交渉に就ての一考察
	佐々木徹眞	宗祖の釋尊觀をめぐりて
	林 水月	末法思想に就ての一考察
	戸須覺了	鼻祖南天の他力教義の考察
	八木昊惠	『往生要集』に偲ぶ本具兩疏の佛(承前)
35 曇鸞大師 研究特輯號	小笠原宣秀	曇鸞大師の教化攷
	禿氏祐祥	往生論註解説
	藤野立然	淨土論註と外典との交渉
	水戸善英	八番問答釋の動向に就いて
	佐々木徹眞	廣略相入をめぐる一考察
	石田充之	曇鸞大師の人間觀
	戸須覺了	雁門教學に於ける他力廻向の考覈
	金海文雄	論註正定聚考
	山本佛骨	曇鸞の五念門釋に就て
	西田實也	『論註』の七祖教學に占むる地位に就て
	森脇一掬	親鸞聖人の焔眼に留まれる曇鸞大師的自然法爾の論理
	土井忠雄	讚阿彌陀佛偈研究に於ける方法的反省
	八木昊惠	『略論安樂淨土義』研究崖略
	河原靜雄	曇鸞大師研究文献略目錄
36	西田實也	「七祖教學の歴史性」と「彌陀法」に就ての一考察
	石田充之	覺明房長西の淨土教

論集番号	著者	題名
36	土井忠雄	宗祖考
	戸須覺了	眞宗教學に於ける西方淨土の意義の討究
	淺井了宗	淨土教に於ける神佛交渉發達論
	山本佛骨	親鸞聖人の自然法爾觀
37 『西方指南抄』の 研究特集号	靈山勝海	『西方指南抄』の評価について
	梯 実円	『西方指南抄』にあらわれた法然の三心釈義
	岡 亮二	『西方指南抄』の念仏思想
	徳永道雄	『西方指南抄』に表われる善悪觀
	井伊成海	来迎思想の考察 -特に『西方指南抄』を中心として-
	上山大峻編	『西方指南抄』文献目録
	山田行雄	『遊心安樂道』の淨土教思想 -元暁撰述の疑問にふれて-
	上山大峻	『入大乘論』における大乘仏説の論証
	藤沢桂珠	化身土文類に於ける觀經の顯彰隱密義について
	青木龍丸	慕歸絵詞の覚如上人の詩歌一考
38 特集号 『眞宗学の 基礎的研究』 -特に教行信証を 中心として-	奥野秀道	眞宗の一代仏教觀
	灘本愛慈	眞宗の成仏道 -行論を中心として-
	岩崎正衛	眞宗における信の性格
	山本一雄	眞宗の現実生活に及ぼす意義 -特に教行信証を中心として-
	藤下洗養	眞宗の人間觀
	吉川昭丸	眞宗における往生成仏の意義
	柳川 巧	眞宗における救済の原理
	秀野大衍	眞宗方便論序説
	三木照国	眞宗より見たる邪教の性格
	岡 亮二	『略論安樂淨土義』の一考察 (曇鸞撰述説をめぐりて)
	梯 実円	日本淨土教に於ける菩提心釈の展開
	徳永道雄	親鸞聖人における恩の意義
39 特集号 『親鸞聖人の 和讃研究』	宮崎圓遵	三帖和讃の成立に関する諸問題
	高木昭良	和讃に於ける阿弥陀仏論 -特に弥陀身土の思想を中心に-
	日野振作	『三帖和讃』の意義と諷誦
	藤下洗養	和讃にみられる往生淨土の思想
	福原蓮月	愚禿悲歎述懐和讃について
	小林昭英	『正像末和讃』の時代背景
	徳永大信	淨土和讃 -その智慧界の妙相-
	福島圓正	道綽禪師和讃に就て -道綽禪師の仏教觀及び人間觀-
	吉川昭丸	善導大師の阿弥陀仏觀
	山本一雄	現世利益和讃について
	奥野秀道	蓮如上人の名号釈義について
40	藤下洗養	眞宗の報恩行について
	福原蓮月	法然上人の助正思想について
	大久保隆俊	助正眞仮の一考察
	杉山義昭	親鸞聖人晩年の御自筆書簡について -今御前の母と即生房-
	騰 瑞夢	親鸞書簡に顕れた宗祖の化風
	源 弘之	朝鮮淨土教と親鸞聖人
	柿本理海	親鸞における倫理思想

論集番号	著者	題名
40	徳永大信	真宗聖典上における疑の概念
	小林昭英	『教行信証』の撰述について
	有乳貫順	浄土真宗の証果について
41	森本 修	選択と廻向
	高田慈昭	宗祖の一乗思想
	騰 瑞夢	『教行信証』と『涅槃経』
	杉山義昭	『往生要集』成立の背景
	亘 一弘	『往生要集』における源信僧都の念仏思想
	日野振作	和讃の起源及び三帖和讃の特徴について
	赤山得成	三源真仮の一考察 ー法然上人の思想との関係に於いてー
	桐山六字	親鸞聖人の歴史観
	久堀勝敏	大行論の一考察
	武田龍雲	往生要集における弥陀身土観
	吉田魚彦	一乗要決の研究序説 ー一乗家・三乗家の系譜ー
42 特集号 『親鸞聖人 書簡の研究』	大原性実	宗祖書簡に現われたる善鸞の異義 ー宮地廓慧氏の新著『御消息集講讃』を縁としてー
	米田睦雄	御消息各集の成立要因と特徴
	板倉耕整	親鸞聖人当時の時代背景 ー特に十三世紀中期を中心としてー
	五十嵐大策	親鸞聖人書簡における本願の異義
	三輪一了	宗祖書簡に見える人間関係序説
	徳永道雄・松井順嗣	善鸞の異義とその背景
	井上昭信	親鸞書簡における「如来と等し」の一考察
	川本憲順	助正論小考
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(一)
43	神子上恵龍	聖徳太子信仰と親鸞
	五十嵐大策	体験としての本願思想
	徳永道雄	論註の二諦
	松井順嗣	親鸞を主題とする一般書について ー新書版を中心としてー
	三輪一了	真宗における実践の課題
	米田睦雄	還相廻向について
	板倉耕整	本典後序の文の史的考察
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(二)
44 特集号 『善導大師の研究』	普賢大圓	善導教義の要点
	宇野順治	善導大師の生涯とその社会背景について
	堀 隆史	善導大師の著述について
	石田雅文	善導大師における人間の研究 ー観経九品段を中心にー
	林 智康	善導における行と信について
	谷本信之	善導の報土について
	藤田恭爾	善導大師『散善義』三心釈と日本浄土教に於ける宗祖以前の受容と展開
	大原性實	鏡智院釈大圓和上を悼む
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(三)
45	五十嵐大策	法蔵菩薩考
	宇野順治	世親の菩薩思想における二三の問題
	林 智康	『教行信証』における『論註』の引用について
	石田雅文	『教行信証』と善導浄土教 ー『行巻』における善導教義の意義ー
	堀 隆史	『唯信鈔』について ー親鸞依用の態度ー

論集番号	著者	題名
45	藤田恭爾	真宗教学の現代的解明 ー第十九願観、第二十願観の変遷ー
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(四)
46	神子上恵龍	智光の往生論註観
	武田暁俊	曇鸞大師における人間の研究
	黒田覚忍	隠顕釈義の成立について
	吉江忠了	現生正定聚論
	宇野順治	『十住毘婆沙論』における二三の見解 ー特に龍樹と羅什の分釈を問題としてー
	石田雅文	初期善導教学の研究(一) ー特に『観念法門』を中心としてー
	林 智康	往生浄土観 ーその現実的意義ー
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(五)
47	宮崎円遵	患者の系譜
	広瀬龍城	親鸞の思想形成について
	高橋事久	親鸞思想の歴史的意義
	波多正文	親鸞聖人の純他力義開顕について
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(六)
	土井順一	資料紹介 仰誓撰『妙好人伝』(抄)
48	高橋事久	蓮如思想の歴史的位
	波多正文	法然門下に於ける親鸞聖人の位置
	広瀬龍城	親鸞に於ける『論註』思想着眼の契機について(一)
	宇野順治	『十住毘婆沙論』における二三の見解(二)
	黒田覚忍	『集註』の思想傾向について
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(七)
49	佐藤哲英	源信和尚の念仏思想
	加藤宏道	『俱舍論頌疏正文』の研究(一) ー界品・根品ー
	瓜生正広	源信から法然へ ー法然の念仏思想の形成ー
	浅田正博	『一乗要決』の引文態度より見たる源信の最澄観
	波多正文	『往生要集』の念仏 ー転迷開悟の方法における位置ー
	黒田覚忍	『往生要集』と『往生拾因』の本願観と、その根底にあるもの
	宇野順治	源信の来迎思想について
	宮崎円遵	源信和尚に関する中世の談義本
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(八)
50	瓜生正広	法然と親鸞 ー弥陀の本願との値遇の見地からー
	加藤宏道	『歎異抄』所説の業論
	毛利 滉	蓮如教学における『安心決定鈔』の位置
	尾野義宗	石泉の基本的立場とその展開
	川添泰信	石泉僧叡の弥陀理念について
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(九)
	大江淳誠	大原勧学を悼む
51	川添泰信	西方指南抄の一考察 ー特に人間の理解についてー
	尾野義宗	石泉師の行信論について
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(十)
52 聖徳太子の研究	神子上恵龍	播磨班鳩寺と浄土真宗
	高橋事久	聖徳太子と親鸞 ー日本仏教における普遍的立場ー
	川添泰信	親鸞と歴代の太子観

論集番号	著者	題名
52 聖徳太子の研究	林 信康	「聖徳太子伝暦」にあらわれた信仰と倫理の問題
	龍口明生	南無仏太子像考
	宇野順治	研究資料紹介 善秀寺本 聖徳太子絵詞抜書と絵解き文
	大江淳誠	真宗の三経観
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(十一)
53	浅田正博	教行信証における天台教判用語の依用について
	白川晴顕	法然教学における一念多念の構造
	宇野順治	研究資料紹介 善秀寺本 聖徳太子絵詞抜書と絵解き文 一統一
		大江淳誠和上『教行信証』講義録(十二)
	加藤宏道	随眠のはたらき 一『俱舎論』所説の随眠の十事一
54	藤澤正徳	親鸞聖人の神祇観について
	龍口明生	真宗本願寺教団の得度式
	林 信康	真宗実践論考 一倫理への関わり(下)一
	篠島善映	懐感の念仏論について
	深川宣暢	『執持鈔』の一考察 一真宗教学史研究覚書一
	内藤知康	江戸宗学の宗体論
55 真宗本尊論の研究	梯 実円	真宗に於ける形像本尊の教義的研究
	龍口明生	真像と銘文 一鏡御影の讃銘を中心に一
	林 信康	親鸞の名号本尊 一善鸞事件と関連して一
	板倉耕整	真宗の本尊について
	清岡隆文	真宗本尊に関する諸問題
	嶋田法宣	「存覚袖日記」における各種本尊の形態と構成について
	藤澤正徳	蓮如上人と本尊
	佐藤哲英	宮崎圓遵博士の学績を憶う
56 『尊号真像銘文』 の研究	瓜生津隆雄	銘文述作の祖意考 一広銘文を中心にして一
	天岸浄円	『尊号真像銘文』にみられる行信思想の展開について
	嶋田法宣	法雲寺本(略本)に見られる尊号と真像について
	松江法一	三帖和讃との関係にみられる尊号真像銘文の意義について
	清岡隆文	真宗如来論再考 一本師本仏説を中心として一
	加藤宏道	得・非得の研究(承前)
	瓜生津隆雄	佐藤哲英学兄追憶記
	灘本愛慈	大江淳誠和上『教行信証講義録』宗学院編
	石田雅文	日野振作著『親鸞聖人と七高僧の教え』
57 帰真院釈淳誠和上 追悼号	石田充之	法然上人の浄土教学の特質
	村上泰順	法然上人の経典観
	大江淳誠	法話 I・II
	石田充之	大江淳誠和上を追悼する
	日野振作	帰真院釈淳誠和上を偲ぶ
58	嶋田法宣	往生要集四種釈書の研究
	日野紫草	源信和尚の迎講について
	那須一雄	永観の念仏思想
59		本典講録集 壹
60	松下了宗	経典註釈法の伝統をめぐって 一中国からインドへ一
	満井秀城	蓮師教学の歴史的意義について 一仏凡一体・機法一体をめぐって一

論集番号	著者	題名
60	宗学院編	本典講録集 貳
61	道元徹心	親鸞聖人の使用された海一味の思想基盤について
	藤満正子	本願における「唯除逆謗」の一考察
	宗学院編	本典講録集 参
62	普賢保之	「如来とひとし」について
	西河雅人	真宗における真仏弟子の一考察
	東光爾英	真宗における「帰一カヘル」についての一考察
	宗学院編	本典講録集 肆
	宇野恵教	普賢行としての還相廻向
	能仁正顕	般舟三昧の周辺 - 夢中見仏とさとりについて -
63	小武秀道	真仏弟子私釈
	安藤光慈	「現在西方去此十万億刹」の説示について
	宗学院編	本典講録集 伍
	内藤昭文	阿弥陀仏論の背景 - 仏身論の変遷を踏まえて -
64	河野行昭	菩薩道の研究 - 願生道に顕現せる菩薩道 -
	臼杵義宣	二種深信の研究
	佐々木景	『親鸞聖人御消息集』の解釈上の問題点 - 「くせごと」=承久の乱説をめぐって -
	宗学院編	本典講録集 陸
	青原令知	アビダルマにおける読誦の意義
65	北村龍史	疑について
	藤原正語	『教行信証』における宋代浄土教受容の意義
	古澤勝浩	「化土巻」の研究 - 化土の大悲を聞く -
	毛織光澄	親鸞における真仏弟子の一考察
	大橋俊雄	公開講演 蓮如上人と時衆
	宗学院編	本典講録 柒
66	稲田静真	蓮如上人における信益の背景 - 「与諸如来等」、「便同弥勒」等について -
	大在 紀	親鸞における『如来会』の評価
	岡村謙英	乃至十念の受容 - 念仏往生の願より出でたり -
	満井秀城	蓮如教学と浄土戒学
	宗学院編	本典講録「総序」についての対照所感
	宗学院編	本典講録集 捌
67 文殊院玄智法師 二百回忌記念号	日野振作	玄智法師追慕の趣意
	普賢晃壽	講演 玄智和上二百回忌法要にあたって
	掬月英勝	玄智の余景に浴して
	大在 紀	文殊院釈玄智師の事績について
	東光爾英	玄智著『浄土文類光融録』写本について
	宗学院編	『浄土真宗教典志』の内容表示
	佐々木義英	曇鸞教学の研究 - 僧肇の受容と展開 -
	小池俊章	他力廻向の研究 - 蓮如上人『御文章』への展開を鑑みて
	智谷公和	宗祖における業について - 『歎異抄』を中心に -
	滝 知生	浄土真宗の現世利益観
	宗学院編	本典講録集 玖
	68	朝倉昌紀
岩崎智寧		真宗における女人往生論と性差別 - 特に親鸞を中心として -

論集番号	著者	題名
68	岡 宏	教行信証における華嚴經引用をめぐる考察 - 涅槃經との連引を中心として -
	高松俊景	『教行信証』の形態 - 信文類本末分冊を通して -
	武田 晋	二種廻向と往生浄土
	藤澤信照	「信巻」大信釈の研究 - 三一問答の設意について -
	森田義見	真宗助正論の研究 - 善導・法然・親鸞への展開 -
	渡邊了生	『安樂集』所説「三身三土義」と「相土・無相土」論との関係考
	宗学院編	本典講録集 拾
69	伊東恒乗	僧肇の二諦説について - 『往生論註』の思想的背景 -
	梶 信隆	善導教学の研究 - 九品皆凡の背景 -
	杉岡孝紀	法然上人と三昧発得
	長谷川憲章	親鸞の往還二回向について
	藤村研之	自然法爾と「本覚思想」
	和田和幸	親鸞聖人における神祇観
	満井秀城	いわゆる「悪人正因説」の再検討
	宗学院編	本典講録「教巻」についての対照所感
	宗学院編	本典講録集 捨壹
70	青山法城	「自然」について
	市川幸佛	親鸞聖人の人間観について
	田中 真	『略論安樂浄土義』の研究 - 敦煌出土本の書誌学的考察 -
	南部松見	真宗の相承形態に関する一考察 - 夢告を中心に -
	渡邊了生	親鸞教学における「ビハーラ」考(Ⅱ)
	河智義邦	法然教学における三昧発得の意義
	宗学院編	本典講録集 拾貳
71	隅倉浩信	親鸞における新羅浄土教受容の意義 - 特に『無量寿経連義述文賛』の引用を中心として -
	千葉考史	善導教学における「見仏」思想の一考察
	殿内 恒	道綽浄土教の成立背景
	貫名 讓	「行巻」大経引文の一考察
	藤 哲哉	真宗仏性論の研究
	岡 宏	『涅槃經』の戒律説についての一考察
	宗学院編	本典講録集 拾参
72	武邑尚邦	共同研究特別講義 浄土真宗の人間観
	江波正信	大経胎化段の研究
	大洲誠史	真宗における衆生と救済
	河智義邦	善導浄土教における懺悔滅罪論
	塚田博教	浄土真宗における伝道の研究
	西 勝海	真宗における「恩」の思想
	西村信也	他力念仏の研究 - 『歎異抄』「念仏まふさんとおもひたつところのおこるとき」について -
	堀 祐彰	『摧邪論』における法然批判について - 特に念仏論を中心に -
	宗学院編	本典講録集 拾肆
73	普賢晃壽	共同研究特別講義 親鸞聖人における悪人正機の教学
	葛野洋明	真宗証果論の研究
	常光香誓	『往生要集』における菩提心について
	平 祐真	阿弥陀仏論の研究
	安方哲爾	第二十願の研究

論集番号	著者	題名
73	宗学院編	本典講録集 拾伍
74	共同研究	浄土真宗の人間観
	北島隆晃	親鸞聖人における名号観の背景 -『唯信鈔』と聖覚法印の意義-
	佐々木瑞雲	「三帖和讃」成立の研究 -「河州本」の特色について-
	戸川教宏	現生正定聚論
	中臣 至	法然上人と親鸞聖人の伝記に関する一考察
	護城孝正	存覚上人の対日蓮念仏往生論の研究 -『法華問答』を中心に-
	宗学院編	本典講録集 拾陸
75	五十香正宏	両重因縁釈について
	井上善幸	逆謗撰取釈の研究
	中村英龍	親鸞における宿業思想とその意義
	能勢晃隆	親鸞における名号本尊依用の一考察
	板原顕示	現生正定聚についての一考察
	木賣慈教	『十住毘婆沙論』の研究
	山田明宏	還浄説の考察
	宗学院編	本典講録集 拾柒
76	伊藤唯道	「談義本」の一考察 -善知識に注目して-
	高田未明	「信巻」菩提心釈の一考察 -日本浄土教における菩提心-
	原田宗司	『無量寿観経續述』のテキストについて
	福井智行	隆寛における『論註』の受容について
	大江宏玄	自然における一考察
	橋本博水	宗祖における涅槃観の一考察
	宗学院編	本典講録集 拾捌
77	香川真二	出家者鬪諍における在家者の役割 -大乘仏教起源に関わる一考察-
	芝原弘記	真宗教学に於ける意業・非意業について
	嶋田崇秀	『教行信証』における『念仏三昧宝王論』の引用をめぐって -『宝王論』当面の所顕と『本典』所引の第五門・第十五門を中心として-
	佐藤 晋	『観経』における法界身について
	藤川顕彰	近世薩摩・人吉藩真宗禁制下における「隠れ信徒」の様相
	村上弘徳	宗祖における末法思想 -正像末三時の年代区分を手掛かりとして-
	龍口恭子	伝聖覚『四十八願釈』の伝本及び思想
	宗学院編	本典講録集 拾玖
78	石田智秀	脳死臓器移植の問題と真宗
	那須良彦	法霖師の鳳潭師批判における聖浄二門融即論の果たす役割
	佐々木覚爾	真宗宿善論の諸説について -真宗宿善論序説-
	前田壽雄	親鸞聖人における来迎の問題
	宗学院編	本典講録集 貳拾
79	麻生暁文	存覚上人の神祇思想 -『諸神本懐集』を中心として-
	佐長道亮	良遍の浄土教思想に関する諸問題
	中西昌弘	仏身・仏土論についての一考察 -善導の仏身仏土論-
	教重賢次	名体不二についての一考察
	日野慶之	宗祖における思議と不可思議
	牧野 仁	星野元豊氏所説「賭」に関する一考察
	稲城蓮恵	親鸞聖人の「大行」について -法然聖人と親鸞聖人における諸行往生の否定を中心として-

論集番号	著者	題名
79	宗学院編	本典講録集 貳拾壹
80	安達高明	世親における仏身仏土の問題 一十八円満と三嚴二十九種を手がかりとして一
	原田宗明	西山派祖証空上人『自筆鈔』の研究 一特殊処目「観門」の具体相に関する一考察
	稲田英真	『唯信鈔文意』諸本の比較研究
	井上見淳	宗祖真蹟断簡「須弥四域経文」について
	西 義人	「化身土文類」未引用の諸経典に関する一考察
	藤原正語	『選択集』二河白道引文における「見」字について
	宗学院編	本典講録集 貳拾貳
81	松尾得晃	『領解文』成立史の研究
	長岡岳澄	「伝道」と「自信教人信」の関係 一「自信教人信」の理解を通して一
	塚本一真	『弥陀如来名号徳』の成立に関する一考察 一特にその構成内容から一
	能島 覚	理明房興然撰『五十卷鈔』「阿弥陀」所引の経論章疏について
	弘中満雄	光明無量段考
	福井智行	隆寛の三心観
	宗学院編	本典講録集 貳拾参
82	飯島憲彬	知空師の「十劫の説意」について 一『浄土和讃首書』を中心として一
	利井唯明	法然から親鸞への信心観の継承と展開 一至誠心釈の一考察一
	武田大俊	『安心決定鈔』における四種往生について 一特に意念往生『法鼓経』引用に関して一
	竹本了悟	「化身土文類」構成についての試論 一要門釈・真門釈と三願転入の関連を手がかりとして一
	中平了悟	迦才『浄土論』の「十念」について
	宗学院編	本典講録集 貳拾肆
83	梯 實圓	特別講義 いわゆる「獲得名号自然法爾御書」について(1)
	今井雅晴	特別講義 善鸞(義絶事件)・如信について
	黒田義道	真門釈における善知識について
	木下明水	宗祖の仏性論および一乗思想の背景に関する一考察 一源信『一乗要決』の受容一
	安達高明	『略論』における曇鸞大師の往生思想について
	宗学院編	本典講録集 貳拾伍
84	梯 實圓	特別講義 『獲得名号自然法爾御書』の自然の法義釈(2)
	赤井智顕	存覚上人における一念多念観
	那須公昭	道綽禅師の西方浄土思想 一方処の問題をめぐって一
	恵美智生	真宗教学史における能行説の研究 一浄土異流と南溪師の教学一
	福田了潤	存覚上人の証果論
	三浦真証	近世初期真宗教学の研究 一能化西吟の課題一
	橘 行信	智儼の往生観
	宗学院編	本典講録集 貳拾陸
	田畑正久	公開講座 福祉、看護、医療の現場で求められている仏教
85	梯 實圓	公開講座 本願念仏の伝承
	岡崎秀磨	両重因縁釈の研究
	深川明暢	真宗に於ける菩提心とその背景について
	弘中満雄	<無量寿経>重誓偈の内容構成に関する一考察
	宇野恵教	「証文類還相回向釈」における他力回向義について
	宗学院編	本典講録集 貳拾柒
86	桑原昭信	親鸞聖人と『十住毘婆沙論』「易行品」
	西塔公崇	『西方指南抄』所収「決定往生三機行相」について

論集番号	著者	題名
86	武田一真	宗祖における「必」の論理
	長尾隆司	大根屋改革における宗意安心の問題
	能美潤史	「タノムタスケタマヘ」に関する一考察
	野村淳爾	道綽の仏身論に関する一考察 -「報化」解釈の再検討-
	赤松信映	曇鸞教学の研究 -五念門理解に対する一考察-
	稲田英真	「聖覚法印表白文」の研究
	宗学院編	本典講録集 貳拾捌
	早島 理	公開講座 仏教的生命観から見た先端医療
87	川野 寛	存覚教学の研究 ～行信理解を中心として～
	溪 英俊	『論註』における行の問題
	福田依正	宗祖の増上縁理解に関する一考察 -行文類における理解を中心として-
	赤井智顕	存覚上人における聖道門理解について -幸西義との関わりを通して-
	三浦真証	真宗教学史における蓮如の位置づけに関する一試論
	宗学院編	本典講録集 貳拾玖
	桂 紹隆	公開講座 「日本仏教に未来はあるか？」
88	佐竹真城	長西の「諸行本願義」考 -「浄土疑芥」を通しての再検討-
	千葉隆誓	真門釈所引の元照『阿弥陀経義疏』引意についての一考察
	武田一真	宗祖の文脈における時間と因果
	藤田宏達	公開講座 浄土真宗の本尊
	宗学院編	本典講録集 参拾
89	内田准心	『往生論註』難易二道説の背景
	桑原昭信	良忠における『十住毘婆沙論』の受用について
	赤松信映	『論註』所説の二種法身に関する一試論
	島 蘭 進	公開講座 日本仏教の社会倫理 -日本仏教史を捉え返す-
	堀澤祖門	公開講座 好相行の体験
	宗学院編	本典講録集 参拾壹
90	四夷法顕	親鸞聖人における懺悔観形成の源泉 -叡山修行時代を手がかりとして-
	杉田 了	親鸞聖人と『恵信尼消息』第五通について
	和 隆道	親鸞聖人の三心釈と善導大師の三心釈との関係について -隆寛律師の三心理解を手がかりとして-
	千葉隆誓	化身土開顕の意義をめぐる諸問題についての一考察 -「真身観仏」を中心として-
	小出裕章	公開講座 原発と平和、幸福
	一郷正道	公開講座 空思想に見る還相回向
	小田淑子	公開講座 イスラームの宗教性と現代
	宗学院編	本典講録集 参拾貳
91	上野隆平	『浄土論』「願生偈」第1偈再考
	東光直也	宗祖における偽の諸相 -「承元の法難」と「化身土文類」の関係再考-
	長宗博之	曇鸞浄土教の研究 -菩薩による衆生教化と下下品の関係考-
	西河 唯	親鸞聖人の聖覚観の研究 -本願疑惑を通して-
	早島 慧	『出定後語』・『摺裂邪網編』における経論引用について -『出定後語』第一章を巡る論争を中心として-
	西塔公崇	『西方指南抄』所収「十八条法語」の諸問題
	武田一真	『獲得名号自然御書』の考察 -何を指して「自然とはまふす」のか-
	伊藤雅玄	真宗教学における「信心正因称名報恩」について

論集番号	著者	題名
91	赤松信映 西村慶哉 佐竹真城	<共同研究> 称名寺聖教『法事讚光明抄』について(一) -概要と巻一翻刻-
	岩井俊平	公開講座 釈尊の時代のユーラシア
	藤井教公	公開講座 中国仏教と『法華経』
	佐々木閑	公開講座 宗教はなぜ必要なのか
	宗学院編	本典講録集 参拾参
92	奥田桂寛	「自信教人信」の研究 -「教人信」における「自信」の者の意思-
	河野悠玄	真宗別途義の研究 -真如即弥陀説の再検討-
	西村一樹	真仏土文類の所顕について -現生における意義-
	宇野恵教	『論註』仏身論の再検討 -諸経論の影響を中心として-
	四夷法顕	『本典』における般舟三昧思想の受容と展開
	苫米地誠一	公開講座 密教浄土教と阿弥陀如来像
	三谷真澄	公開講座 企画展「龍谷の至宝」～大谷探検隊コレクションを中心に
	宗学院編	本典講録集 参拾肆
	桑原昭信 山本博樹	教学研究資金助成の成果報告論文 高校「宗教科」授業における受用的理解の重要性と学習支援の視点